



主題名

偏見

教材名

あなたならなんて答える

人権学習の視点

普遍的な視点「差別の構造」

主題・教材について

「決めつけ」や「思いこみ」は、事実に基づいた正しい判断ではなく、偏見につながったり、差別や人権侵害に発展したりすることがある。ここでは一方的な情報や自分の思いこみだけで人を判断せず、正しく相手を見ていくことがよりよい人間関係の形成につながっていくことに気付かせたい。

ねらい

「決めつけ」や「思いこみ」で人を判断するのではなく、正しく相手を見ていこうとする態度を養う。



本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○私たちはさまざまな情報によって人や物事を判断していることを伝える。	
展開	<b>この人はどんな人かな？</b>				
	○少ない情報でどのように判断するか考え、発表させる。	個別 一斉	○カードAとカードBの情報をもとにワークシートに記入し発表する。	○自分の思い浮かんだことを自由に書かせる。	資料 「あなたならなんて答える」 ワークシート ①問1 ワークシート ②問2
	<b>この人はどんな人かを考えよう</b>				
	○「上級生」「お年より」はどんな人か考え、発表させる。	グループ 一斉	○グループで意見を出し合い、ワークシートに書き発表する。	○グループで出し合うことで、考え方に広がりを持たせる。 ○出された意見を発表するようにさせる。 ○意見の中には、「思いこみ」や「偏見」があったり、幅広い見方があったりすることに気付かせる。	
まとめ	<b>あなたならなんて答える？</b>				
	○「ある日のこと」の話の内容を理解させる。 ○ふきだしの言葉を考え発表させる。	一斉	○「ある日のこと」の内容を知る。 ○ふきだしに入る言葉をワークシートに書き、発表する。	○一方的な情報に対して、どのように対応するか、自分のこととして考えられるようにする。	ワークシート ②問3
まとめ	○人を噂や偏った情報だけで判断するのではなく、正しく相手を見ていくことが大切であることに気付かせる。	一斉	○正しく相手を見ることの大切さを知る。	○発表された意見の中から本時の学習のまとめをしていくのもよい。	

評価

「決めつけ」や「思いこみ」で人を判断するのではなく、正しく相手を見ていこうとする態度を養うことができたか。

